

改訂日 2016年9月15日

作成日 2016年6月1日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名：UA 標準液

商品コード：500244

製品番号：ST-451A

化学物質等の名称：四ほう酸ナトリウム(十水和物) (含有量：0.48%)

会社名：株式会社LSIメディエンス

住所 東京都千代田区内神田一丁目13番4号

問い合わせ先：学術部 インフォメーション担当

電話番号 (緊急電話番号も同一) 03-5994-2516

整理番号：1106

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	タイプG
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過氧化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分外

	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
	急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器（単回ばく露） 神経系/呼吸器系/腎	区分外
	特定標的臓器（反復ばく露） 神経系/呼吸器系/腎	区分外
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外
	オゾン層への有害性	分類できない
絵表示又はシンボル：		
	なし	
注意喚起語：	なし	
危険有害性情報：	なし	
注意書き：		

**【安全対策】**

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

**【応急措置】**

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

**【保管】**

施錠して保管すること。

**【廃棄】**

関連法令・条例に従って内容物／容器を廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量

成分（危険有害物質）：四ほう酸ナトリウム(十水和物)

化学式： $\text{Na}_2\text{B}_4\text{O}_7 \cdot 10\text{H}_2\text{O}$

CAS No：1303-96-4

官報公示整理番号（化審法）：(1)-69

含有量：0.48%

#### 4. 応急措置

##### 吸入した場合

被災者を空気の新鮮な場所に移動させ安静にし、必要に応じて人口呼吸や酸素吸入を行い、医師の処置を受ける。

##### 皮膚に付着した場合

汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ、製品に触れた部分を水又は微温湯で流しながら石鹼を使ってよく洗浄する。

外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医療措置を受ける手配をする。

##### 目に入った場合

清浄な水で最低15分間、目を洗浄した後、眼科医の手当を受ける。

洗顔の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々まで水がいきわたるように洗浄する。

##### 飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄し、医師の処置を受ける。

被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはいけない。

##### 急性症状及び遅発性症状のもっとも重要な徴候症状

ほう素は鉛、マンガン、砒素のような中枢神経に影響する元素の一つである。

ほう素中毒では循環系の抑制、持続性の嘔吐や下痢が起こり、引き続いて重篤なショックや昏睡に至る。

吸入：咳、息切れ、咽頭熱、鼻血

皮膚：皮膚の乾燥、発赤、痛み

経口摂取：腹痛、下痢、頭痛、吐気、嘔吐、脱力感、痙攣

眼：発赤、痛み

##### 応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグル等の保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

消火剤：当該物質を巻き込んだ周辺火災に適切な消火剤を使用する。

### 特有の危険有害性

火災時には、一酸化炭素の他、有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないよう注意する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置

適切な保護具（手袋、マスク、保護眼鏡等）を着用し、接触を避ける。

### 環境に対する注意事項

環境に流出し、影響を与えないよう注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

布等で拭き取り、廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：目や口に入ったり、皮膚に付着しないよう適切な保護具を着用する。

保管：2～10℃で保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：

ACGIH（2005年版）：TWA：5mg/m<sup>3</sup>（四ほう酸ナトリウム(十水和物)として)

### 保護具

適切な保護具(手袋/マスク/保護眼鏡等)を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状：液体

色：透明

臭い：ほとんどなし

pH：－

沸点：－

引火点：データなし

発火点：データなし

#### 10. 安定性及び反応性

本混合物に含有している四ほう酸ナトリウム（十水和物）に関して以下の情報が報告されている。

反応性： 熱するとしだいに水を失い結晶水に溶解してはなはだしく膨張し、白色多孔質の無水物となり、さらに熱すれば融解してガラス状透明体となる。320℃まで熱すると無水物となる。

化学的安定性：通常取り扱い条件において安定である。

空气中に放置すると風化して白い粉末となる。

危険有害反応性：知見なし

避けるべき条件：混触危険物質との接触

混触危険物質：強酸化剤、強還元剤、強酸

#### 11. 有害性情報

本混合物に含有している四ほう酸ナトリウム（十水和物）に関して以下の情報が報告されている。

急性毒性

経口： マウス LD<sub>50</sub>=2g/kg

経口： ラット LD<sub>50</sub>=2660mg/kg

経皮： ウサギ LD<sub>50</sub>=10000mg/kg

特定標的臓器（単回ばく露）

眼、皮膚、気道を刺激する。経口摂取すると、中枢神経系、腎臓、肝臓に影響を与えることがある。これらの影響は、遅れて現れることがある。

特定標的臓器（反復ばく露）

反復または、長期の皮膚への接触により、皮膚炎を引き起こすことがある。

動物試験では人で生殖・発生毒性を引き起こす可能性がある。

#### 12. 環境影響情報

本混合物に含有している四ほう酸ナトリウム（十水和物）について示す。

生態毒性：水生生物に対して毒性がある。

Carassius auratus (gold fish) LC<sub>50</sub>=178mg/L/72H

Daphnia magna (Water flea) EC<sub>50</sub>=1085~1402mg/L/48H

13. 廃棄上の注意

都道府県知事等の許可を受けた処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

15. 適用法令

消防法：適用外

毒物及び劇物取締法：適用外

労働安全衛生法：適用（名称等を通知すべき有害物）

化学物質排出把握管理促進法：適用外

16. その他の情報

参考情報：

1. 厚生労働省 職場のあんぜんサイト
2. 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂5版
3. 経済産業省 事業者向け GHS 分類ガイダンス(平成25年度改訂版(ver. 1.1))

本データシート内容につきましては、現時点での最新の情報を記載しておりますが、全てを網羅しているものではありませんので、取扱いの際には十分注意して下さい。 又、記載されている値は、安全な取り扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。